



2007.06 MIYAZAKI JAPAN

2007年6月8日（金）

開会式 9：30～10：20

基調講演 10：30～11：45

テーマ：精神保健福祉士の関係力による福祉実践の創造

講師：石川 到覚 氏（大正大学 人間学部 教授）

講師プロフィール

職歴 国立精神衛生研究所より神奈川県立精神衛生センターを経て大正大学へ、同大学附属カウンセリング研究所も兼任し、現在、人間学部人間福祉学科社会福祉学専攻及び同大学院人間学研究所社会福祉学専攻の教授。

日本社会福祉実践理論学会・日本仏教社会福祉学理事歴任、日本精神保健福祉士養成校協会副会長や日本精神保健福祉士協会理事及び全国精神保健福祉相談会顧問等関連学会・団体に参与。浄土宗・正應寺住職として境内で精神障害者小規模作業所とグループホームの場づくり等を支援。

著書 『セルフヘルプ・グループの理論と展開／活動の実際』 共編著 1998年

『精神保健福祉ボランティア～精神保健と福祉の新たな波～』 編著 2001年

『市町村時代の精神保健福祉業務必携』 共著 2002年

『精神保健福祉用語辞典』 編集代表 2004年

『精神保健福祉援助技術各論』 編著 2007年 他

特別講演 12：45～13：30

テーマ：精神保健福祉医療施策の現状と課題

—精神保健福祉士に期待するもの—（仮題）

**講師：鷺見^{すみ} 学 氏（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部
精神・障害保健課 課長補佐）**



第4回通常総会 13:45～15:45

- ※ 本協会の通常総会ですので、構成員は必ずご出席ください。
- ※ 事前に送付する『第4回通常総会議案書』をご持参ください。
- ※ 構成員は、必ず『Membership Card (会員証)』及び『会章 (会員バッジ)』をご持参ください。

シンポジウム 16:00～18:00

テーマ：「 障害者自立支援法下での精神保健福祉士の実践課題 」

「障害者自立支援法」が平成18年10月より施行され新たなる枠組みによる支援がスタートした。精神障害者も加えた三障害同一枠組みの同法には多くの期待もあるが不透明な部分も多く先が見えない不安もある。「障害者自立支援法」の施行された今、精神保健福祉士がなぜ必要とされ誕生したのか、今後専門職として何をなすべきなのかを、改めて考えるときにきているのではないのか。

今回、さまざまな立場からのシンポジストを迎え、障害者自立支援法下での私たち精神保健福祉士の実践課題を再確認していきたい。

シンポジスト : <当事者の立場から>

徳山 大英 氏 (NPO法人全国精神障害者ネットワーク協議会 代表/熊本県)

<医師の立場から>

藤本 敏雄 氏 (坂本病院 院長/熊本県)

<看護師の立場から>

太田 知子 氏 (宮崎大学 教授/宮崎県)

<精神保健福祉士の立場から>

伊藤 要 氏 (東春病院 精神保健福祉士/愛知県)

コーディネーター : 木下 了丞 氏 (飯塚病院 精神保健福祉士/福岡県)

コメンテーター : 柏木 昭 氏 (聖学院大学大学院 教授/東京都)

大塚 淳子 氏 ((社)日本精神保健福祉士協会 常務理事/東京都)

懇親会 18:30～20:30

全国から集った仲間達と交流を深め、素敵な宮崎の夜を過ごしましょう！
多くの方のご参加をお待ちしております！